



“地域のことは地域で考えよう”

〒900-0013 那覇市牧志1丁目3番45号、3階 電話 (098) 869-8711

各位

2023年10月30日

株式会社 おきぎん 経済研究所

おきぎん県内景況・速報（2023年9月分）

◎ 県内景況は、着実に回復しつつある。

☆ 個人消費：スーパー売上高は全店ベース、既存店ベース共に前年同月を上回る。

百貨店売上高は前年同月を上回る。

新車販売台数は前年同月を上回る。

中古車販売台数は前年同月を上回る。

☆ 建設関連：公共工事請負金額は前年同月を上回る。

生コン、セメントはともに前年同月を上回る。

☆ 観光関連：入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も上回る。

ホテル稼働率は、シティホテル、ビジネスホテルは前年度を上回り、

リゾートホテルは下回る。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊

収入(推計値)も上回る。

☆ 企業倒産：件数、負債総額はともに前年同月を上回る。

※ お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

[担当]：新垣、中江、小嶺 [連絡先] 電話：098-869-8711 ファクシミリ：098-869-2200

現場主義とお客さまからの信頼

おきぎん県内景況・確報（2023年9月分）

◎2023年9月 おきぎん「カトリア」景況図



概況：県内景況は、着実に回復しつつある。

9月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に前年同月を上回りました。百貨店売上高は、前年同月を上回りました。耐久消費財である新車販売台数は、前年同月を上回りました。中古車販売台数は、前年同月を上回りました。

建設関連では、公共工事請負金額は前年同月を上回りました。建設資材である生コンとセメントはともに前年同月を上回りました。

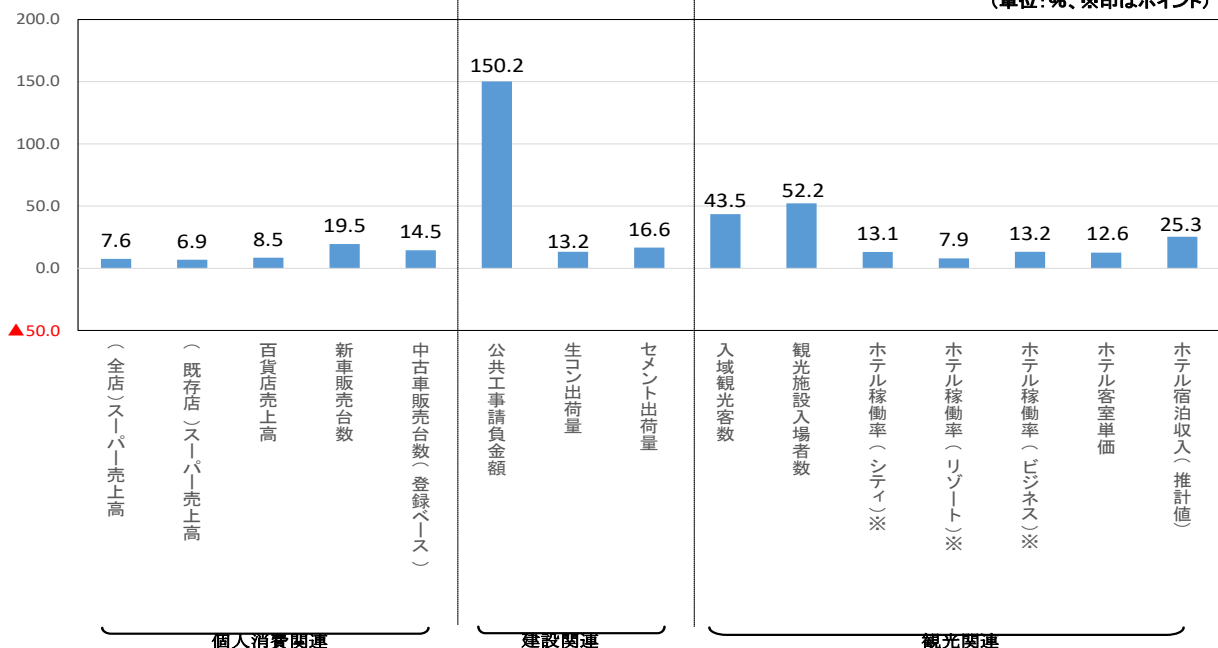
観光関連では、入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も前年同月を上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、ビジネスホテル、リゾートホテルともに前年同月を上回りました。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入（推計値）においても前年同月を上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費は、物価高の影響を受けながらも緩やかに回復しています。建設関連は、民間工事に持ち直しの動きがみられます。観光関連は、イベント開催や外国人観光客の増加などから着実に回復しつつあります。よって、「県内景況は、着実に回復しつつある」と景気判断を据え置きました。

（2023年3月の上方修正から7か月連続で判断維持）

主要景気指標前年同月比（増減率）

（単位：％、※印はポイント）



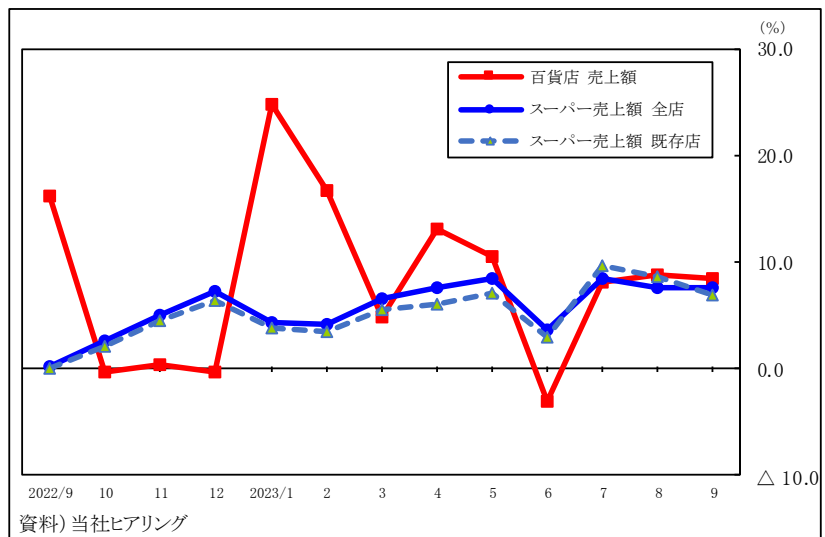


■個人消費： (やや良い)

① スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に前年同月を上回る。百貨店売上高は、前年同月を上回る。

単位：%

	スーパー売上額		百貨店 売上額
	全店	既存店	
2022/9	0.2	0.1	16.3
10	2.6	2.2	△ 0.3
11	5.0	4.6	0.4
12	7.2	6.5	△ 0.3
2023/1	4.4	3.9	24.8
2	4.1	3.5	16.7
3	6.6	5.6	4.9
4	7.6	6.1	13.2
5	8.4	7.1	10.6
6	3.6	3.0	△ 3.0
7	8.5	9.6	8.1
8	7.6	8.6	8.8
9	7.6	6.9	8.5



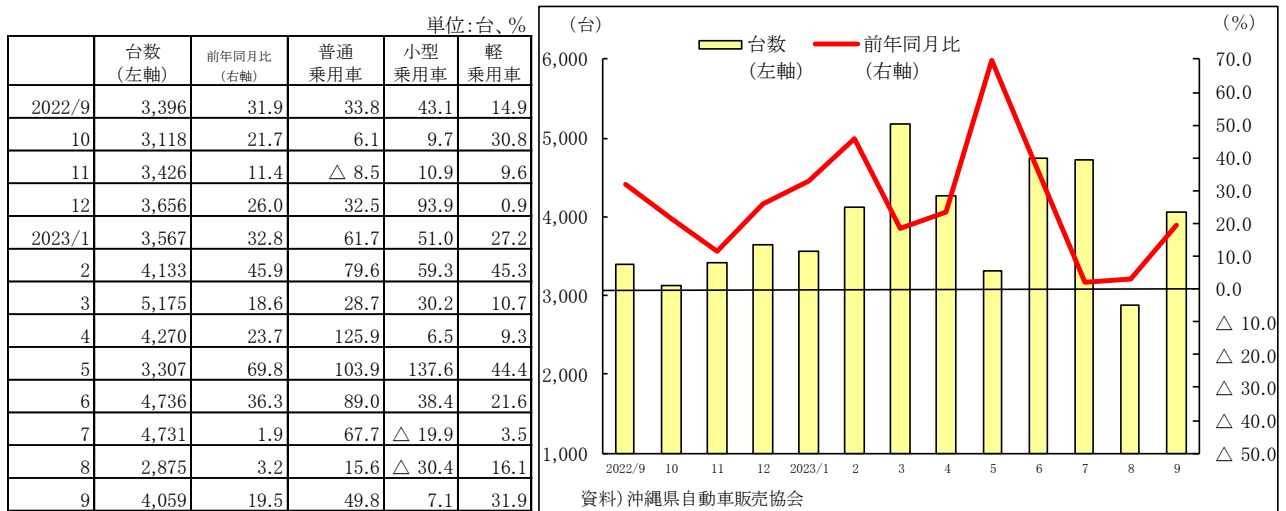
注) 前年同月比

9月の個人消費関連では、スーパー売上高「全店ベース(前年同月比 7.6%増)」は、16ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、「食料品(同 6.6%増)」は、物価高による単価の上昇や気温が高く推移したことによる季節商品の好調などにより、前年同月を上回りました。「衣料品(同 10.3%増)」は、季節商品の好調などにより前年同月を上回りました。家電を含む「家庭用品(同 12.7%増)」はインバウンドによる売り上げ好調などにより前年同月を上回りました。

「既存店ベース(同 6.9%増)」は、16ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、「食料品(同 5.7%増)」は、物価上昇の影響、天候要因などにより前年同月を上回りました。「衣料品(同 10.3%増)」、「家庭用品(同 12.3%増)」は来客数の増加や季節商品の好調などにより前年同月を上回りました。(参考値)コロナ禍以前の2019年同月比では、2.1%増となりました。

百貨店売上高は、インバウンドをはじめとする観光客からの売り上げ好調等により前年同月を上回りました(同8.5%増)。品目別では、「衣料品(同12.7%増)」は会員向けの優待企画の好調等により前年同月を上回りました。「雑貨(同25.2%増)」は、インバウンド含む観光客の需要が好調だったことなどにより前年同月を上回りました。「食料品(同 1.8%増)」、「家庭用品(同 0.7%増)」は、前年同月を上回りました。「身廻品(同 3.8%減)」は、前年同月を下回りました。全体としては3ヵ月連続で前年同月を上回りました。

② 新車販売台数…新車販売台数は、前年同月を上回る。



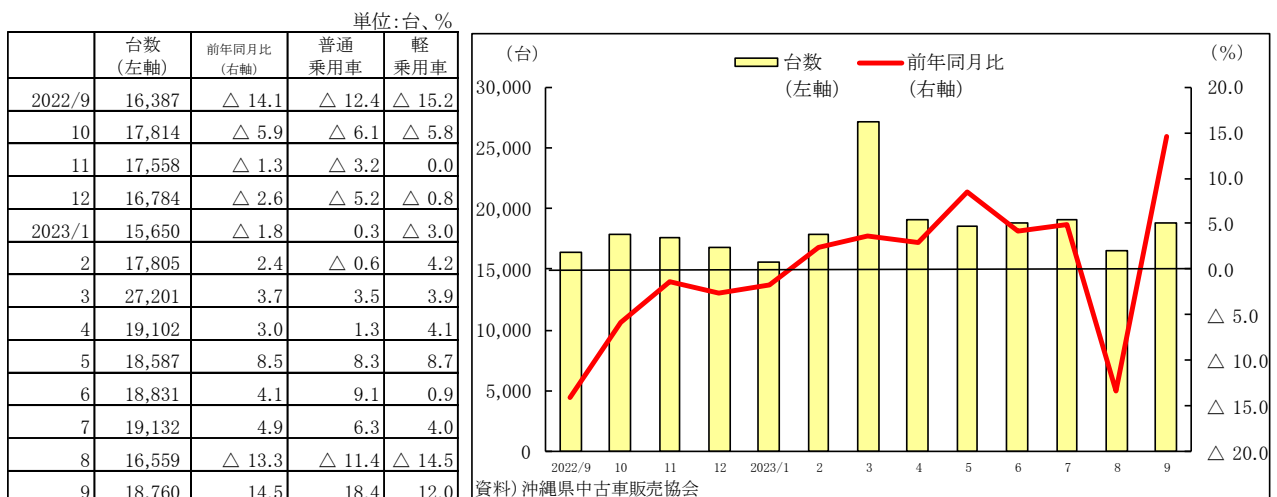
注) 前年同月比

注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

新車販売台数は、全体で4,059台(同19.5%増)となり、13ヵ月連続で前年同月を上回りました。車種別では、「普通乗用車(同49.8%増)」、「小型乗用車(同7.1%増)」、「軽乗用車(同31.9%増)」は供給制限の影響が改善しつつあることなどにより前年同月を上回りました。

(参考値) コロナ禍以前の2019年同月比では、全体で14.4%減となりました。車種別では、普通乗用車5.7%減、小型乗用車22.1%減、軽乗用車13.4%減となっています。

③ 中古車販売台数…中古車販売台数は前年同月を上回る。



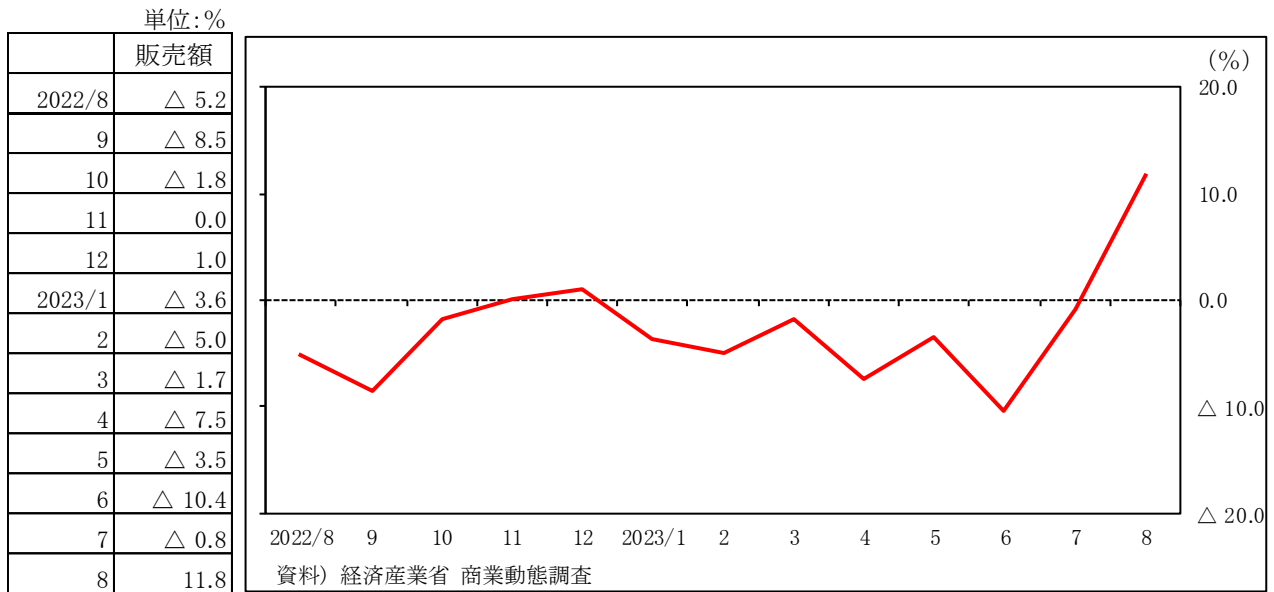
注) 前年同月比

注) 登録ベース

中古車販売台数(登録ベース)は、全体で18,760台(同14.5%増)となり、2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。車種別では、「乗用車(同18.4%増)」、「軽自動車(同12.0%増)」と前年同月を上回りました。

(参考値) コロナ禍以前の2019年同月比は全体で1.1%増となり、車種別では乗用車5.4%増、軽自動車1.5%減となりました。

④ 【参考：8月】大型家電専門店販売額…販売額は前年同月を上回る。



注) 前年同月比

8月の大型家電専門店販売額は前年同月を上回りました。

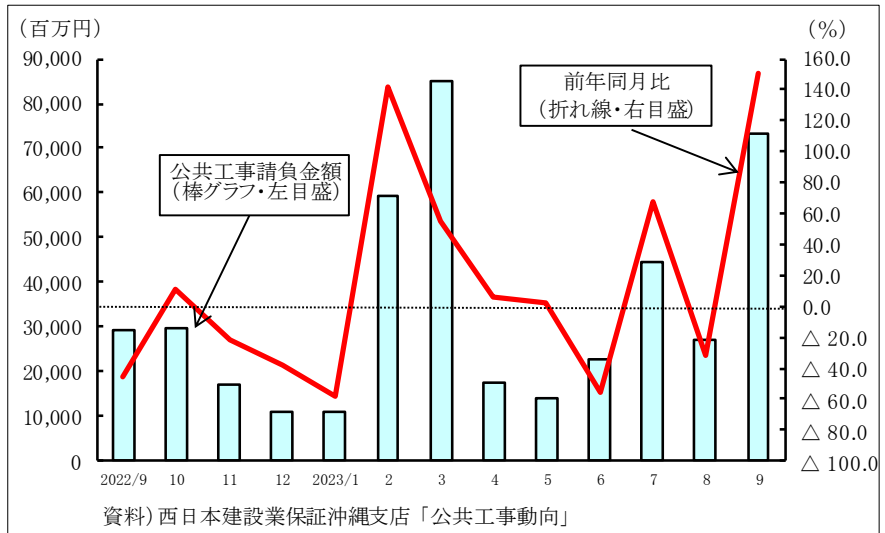


■建設関連： (ふつう)

①公共工事・・・公共工事請負金額は前年同月を上回る。

単位:百万円、%

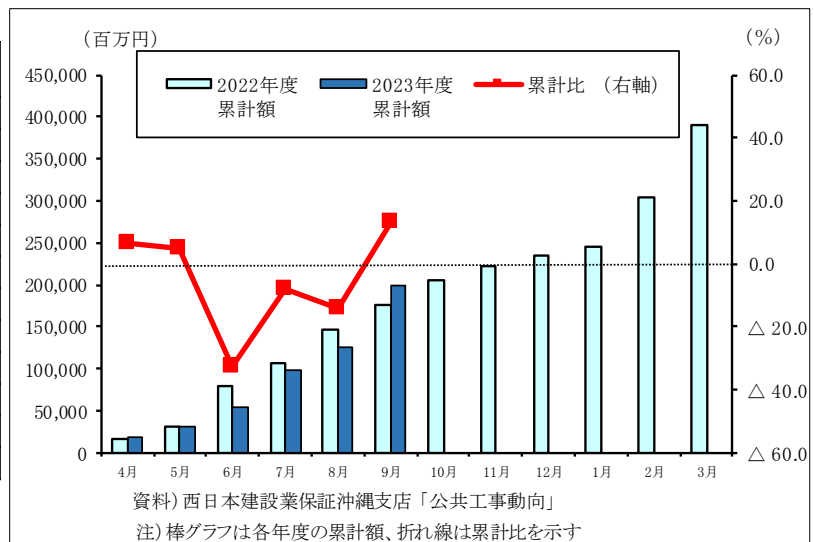
	請負金額	前年同月比
2022/9	29,347	△45.5
10	29,678	11.1
11	17,120	△22.1
12	11,214	△37.6
2023/1	11,114	△58.6
2	59,359	141.8
3	84,927	54.9
4	17,663	6.4
5	14,118	2.8
6	22,582	△55.0
7	44,353	68.0
8	26,976	△32.3
9	73,429	150.2



【参考】公共工事（年度累計）・・・公共工事請負金額は前年同期を上回る。

単位:百万円、%

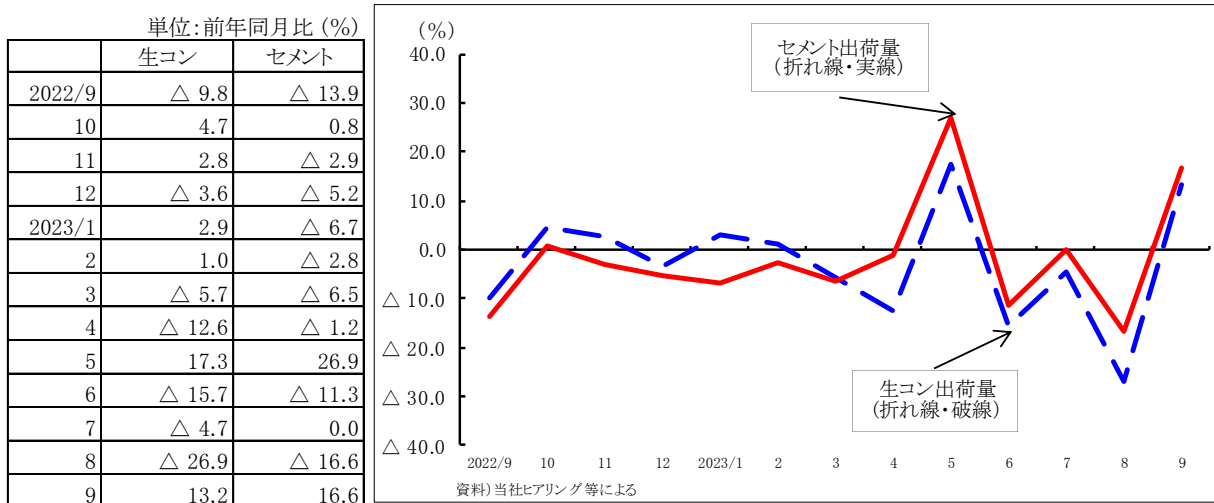
	2022年度 累計額	2023年度 累計額	累計比 (右軸)
4月	16,593	17,663	6.4
5月	30,325	31,781	4.8
6月	80,556	54,363	△32.5
7月	106,961	98,717	△7.7
8月	146,790	125,693	△14.4
9月	176,137	199,123	13.1
10月	205,815		
11月	222,935		
12月	234,149		
1月	245,263		
2月	304,622		
3月	389,549		



9月の公共工事請負金額は、前年同月比150.2%増の734億2,900万円となりました(2ヵ月ぶりに増)。

発注者別でみると、「国(同 305.1%増)」、「市町村(同 70.1%増)」、「その他の公共的団体(156.8%増)」、「沖縄県(同 18.3%増)」は前年同月を上回りました。一方、「独立行政法人等(同 62.7%減)」は前年同月を下回りました。

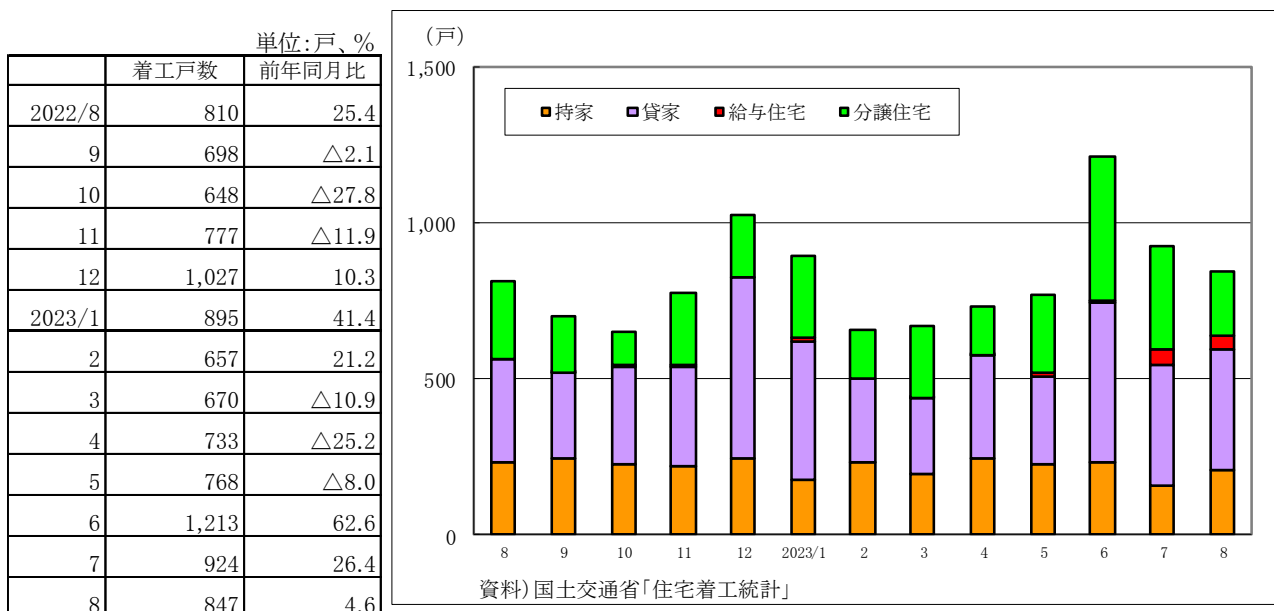
②建設資材・・・生コン、セメントはともに前年同月を上回る。



(注) セメント出荷量は、速報値につき、確報にて修正される場合がある

建設資材関連では、**生コン**の出荷量は13.2%増と4ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。内訳をみると、公共工事向けは中南部地区、北部地区での出荷が増加したことなどから前年同月を2.0%上回り、民間工事向けは中南部地区、北部地区、宮古地区、石垣地区での出荷が増加したことなどから前年同月を20.1%上回りました。**セメント**出荷量は16.6%増と4ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。

③【参考】住宅投資・・・着工戸数は前年同月を上回る。

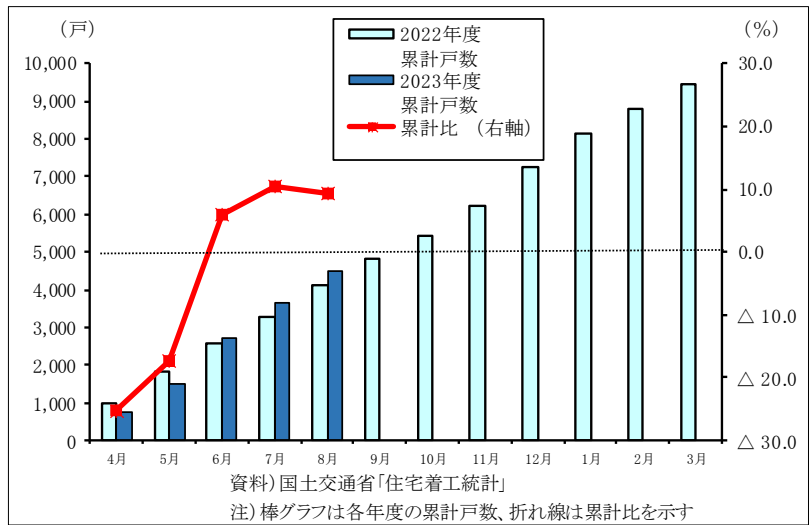


8月の新設住宅着工戸数は、全体で前年同月比4.6%増の847戸となり、3ヵ月連続で前年同月を上回りました。利用別戸数をみると、「貸家(同18.6%増)」、「給与住宅(同40倍)」は前年同月を上回りました。一方、「分譲住宅(同14.5%減)」、「持家(同11.6%減)」は前年同月を下回りました。

【参考】住宅投資（年度累計）・・・着工戸数は前年同期を上回る。

単位:戸、%

	2022年度 累計戸数	2023年度 累計戸数	累計比 (右軸)
4月	980	733	△25.2
5月	1,815	1,501	△17.3
6月	2,561	2,714	6.0
7月	3,292	3,638	10.5
8月	4,102	4,485	9.3
9月	4,800		
10月	5,448		
11月	6,225		
12月	7,252		
1月	8,147		
2月	8,804		
3月	9,474		

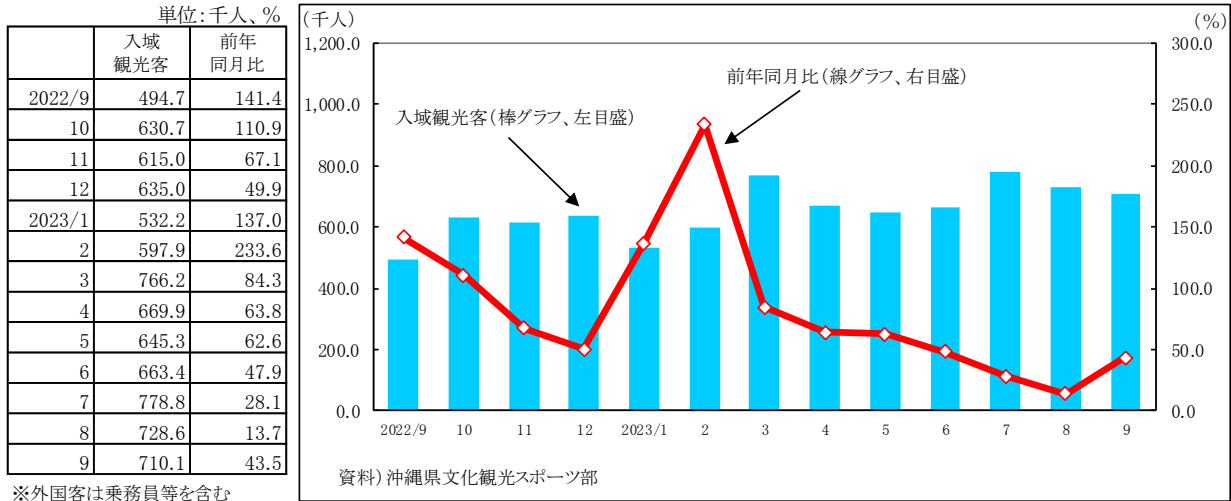


今年度累計値では、9.3%増となっています。



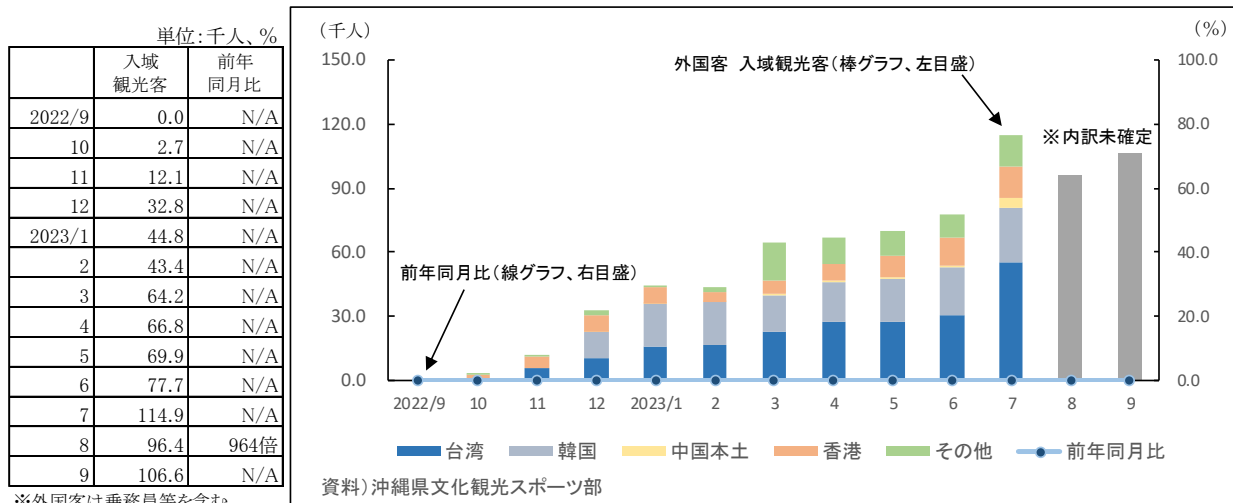
■観光関連： (ふつう)

①入域観光客数（国内客・外国客の合計）・・・前年同月を上回る。



※外国客は乗務員等を含む

外国客入域観光客数・・・106,600人となる。



※外国客は乗務員等を含む

※前年同月比は、前年が0千人のためN/Aにて表示。

2023/8は倍率表示、グラフへの反映はなし。

9月の入域観光客数は、215,400人多い710,100人(前年同月比43.5%増)となり、22ヵ月連続で前年同月を上回りました。全国旅行支援が再開されたことや、FIBAバスケットボールワールドカップ、全島エイサーまつり等イベント開催などから増加しました。

2019年同月比(国内客・外国客の合計)では、99,200人減少(12.3%減)と下回っています。

2019年同月比(国内客)では、12,900人増加(2.2%増)となっています。

外国客入域観光客数は、106,600人となりました(空路79,600人、海路27,000人)。今後も各路線の運航再開・増便やクルーズ船の寄港などにより、外国客数の緩やかな回復が見込まれています。

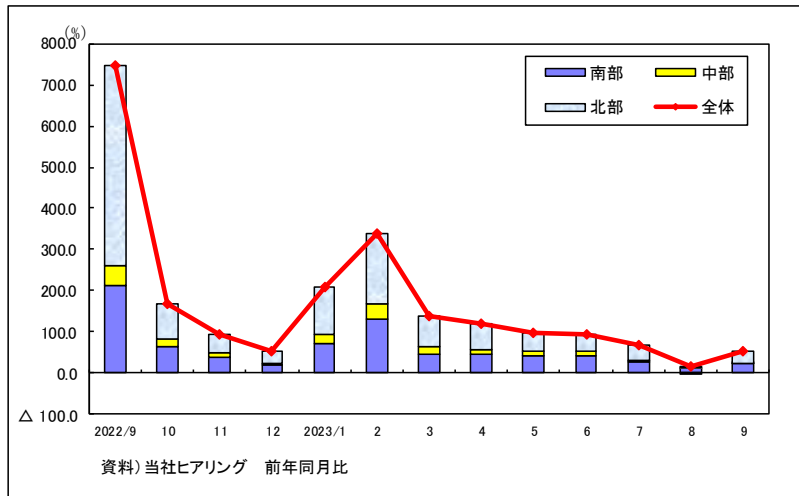
②観光施設入場者数・・・前年同月を上回る。

単位: %

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2022/9	747.4	510.6	559.3	978.8
10	168.8	237.0	179.0	137.6
11	92.2	108.9	70.5	85.1
12	54.3	59.0	19.6	61.9
2023/1	207.3	220.8	164.5	210.3
2	339.8	606.5	290.6	260.6
3	139.9	139.5	180.1	132.3
4	119.7	132.0	137.2	110.0
5	98.3	123.8	117.6	80.0
6	93.0	121.7	162.4	69.5
7	67.3	105.0	54.0	53.1
8	14.4	40.3	△ 1.3	5.5
9	52.2	77.9	22.9	43.3

※調査対象施設数＝南部6、中部5、北部4施設

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。



9月の**観光施設入場者数**は、団体客や外国人観光客の増加などにより全体では52.2%増となり18ヵ月連続で前年同月を上回りました。地域別では、北部の観光施設は43.3%増、南部は77.9%増、中部は22.9%増となりました。

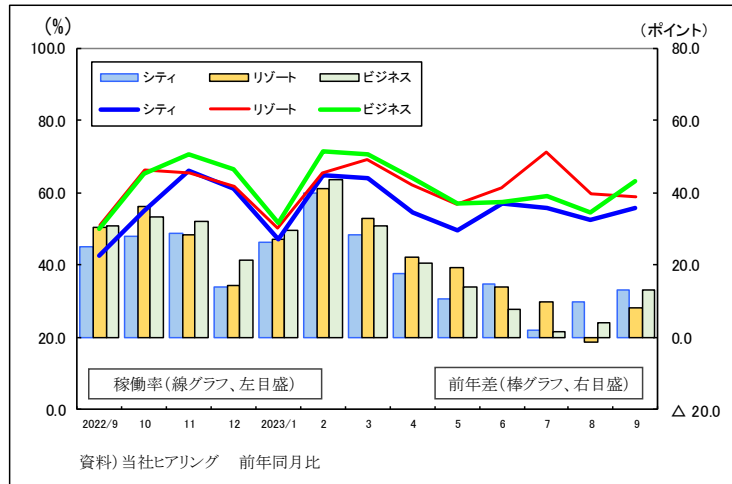
(参考)2019年同月比では、全体で30.1%の減少となりました。内訳では北部の観光施設は26.2%の減少、南部は38.2%の減少、中部は6.3%の減少となっています。

③ ホテル稼働率・・・シティホテル、ビジネスホテル、リゾートホテルのすべてで前年同月を上回る。

単位：％、ポイント

	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
2022/9	42.7	51.1	50.2	25.1	30.3	31.0
10	54.9	66.2	65.3	28.1	36.0	33.1
11	66.0	65.6	70.7	28.9	28.3	32.0
12	61.2	61.8	66.4	13.8	14.3	21.3
2023/1	47.0	50.1	51.6	26.2	26.9	29.6
2	64.9	65.3	71.6	39.8	41.3	43.7
3	63.9	69.1	70.8	28.3	33.0	30.8
4	54.4	62.0	64.1	17.6	22.2	20.6
5	49.4	57.0	57.2	10.4	19.1	13.9
6	57.0	61.4	57.6	14.9	13.9	7.7
7	55.9	71.3	59.1	2.0	9.7	1.6
8	52.5	59.7	54.4	9.7	△1.4	4.1
9	55.8	59.0	63.4	13.1	7.9	13.2

注)シティ7ホテル、リゾート18ホテル、ビジネス4ホテル
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。



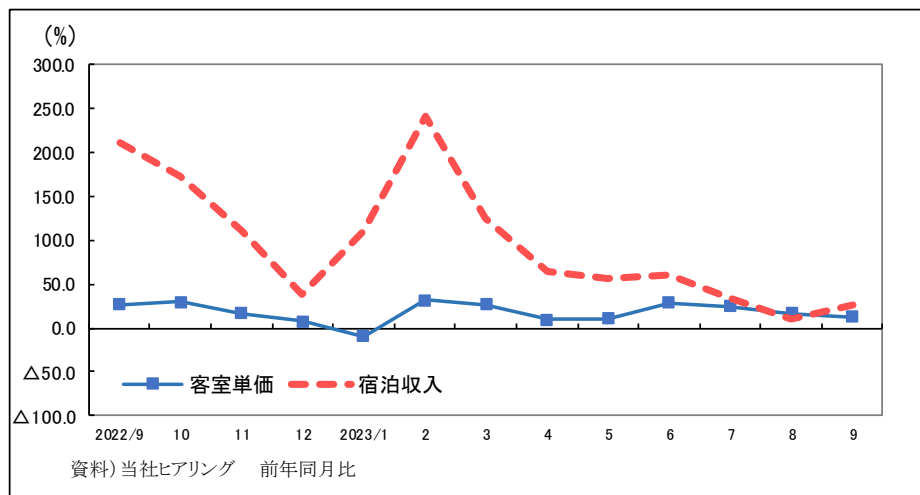
県内ホテル稼働率は、シティホテルは前年同月比 13.1 ポイント増加、リゾートホテルは 7.9 ポイント増加、ビジネスホテルは 13.2 ポイント増加しました。

(参考)2019年同月比では、シティホテルは 21.7 ポイントの減少、リゾートホテルは 16.0 ポイントの減少、ビジネスホテルは 11.9 ポイントの減少となっています。

④ ホテル客室単価・宿泊収入…ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入も上回る。

単位：％

	客室単価	宿泊収入
2022/9	26.6	211.9
10	30.1	173.2
11	16.4	110.8
12	7.4	37.7
2023/1	△9.7	111.1
2	31.3	240.5
3	26.7	125.7
4	9.1	65.2
5	10.3	56.9
6	28.2	60.7
7	24.4	33.7
8	16.4	9.5
9	12.6	25.3



※対象施設数:25施設(シティ7、リゾート18)、ビジネスは除く

※客室単価は25施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

ホテル客室単価(シティ&リゾート)は 12.6%増と8ヵ月連続で前年同月を上回り、宿泊収入においては 25.3%増と 22ヵ月連続で前年同月を上回りました。

(参考)2019年同月比では、客室単価は 15.3%の増加、客室収入は 10.1%の減少となっています。

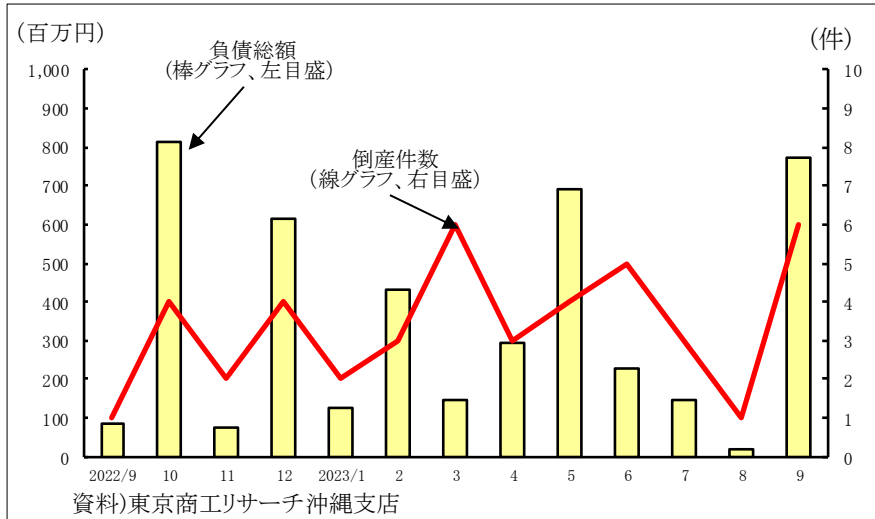


■企業倒産： (やや良い)

企業倒産・・・件数、負債総額はともに前年同月を上回る。

単位:百万円、件

	負債総額	倒産件数
2022/9	83	1
10	816	4
11	75	2
12	617	4
2023/1	128	2
2	430	3
3	145	6
4	294	3
5	689	4
6	225	5
7	147	3
8	20	1
9	771	6



注) 負債総額1,000万円以上を集計対象

9月の企業倒産件数は6件(うち大口倒産は3件)となり、前年同月より500.0%上回りました。

負債総額は7億7,100万円となり、前年同月より828.9%上回りました。

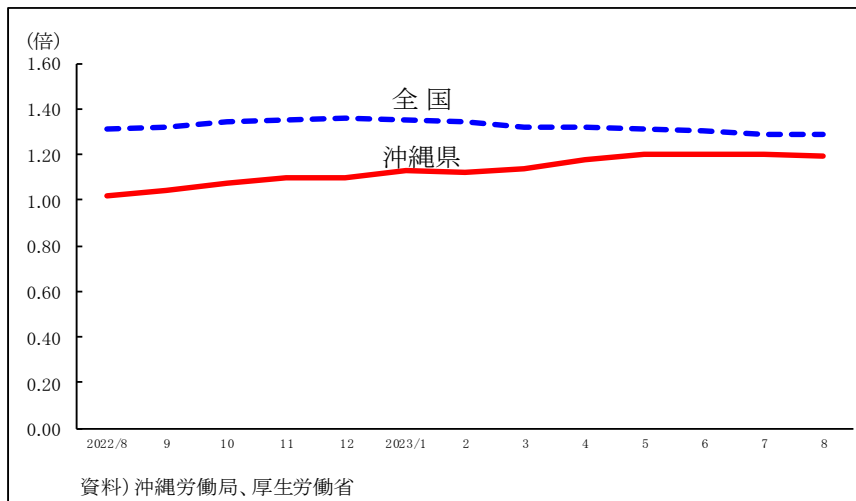


■雇用関連： (やや良い)

①【参考】有効求人倍率・・・沖縄は前月より低下、全国は同水準。

単位:倍

	沖縄県	全国
2022/8	1.02	1.31
9	1.04	1.32
10	1.07	1.34
11	1.10	1.35
12	1.10	1.36
2023/1	1.13	1.35
2	1.12	1.34
3	1.14	1.32
4	1.18	1.32
5	1.20	1.31
6	1.20	1.30
7	1.20	1.29
8	1.19	1.29



注) 季節調整済

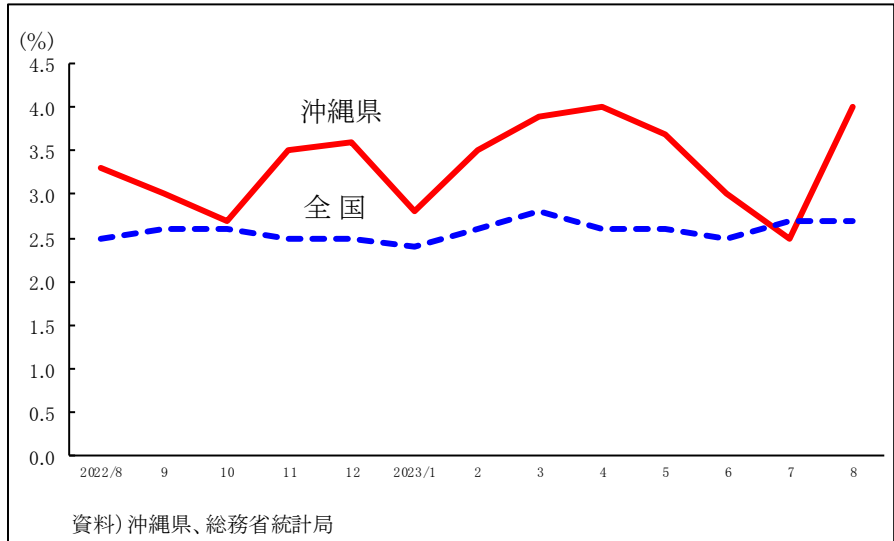
注) 沖縄県の数値は県内を就業地とする「就業地別」求人数を用いて算出

8月の雇用状況は、月間有効求人数(季節調整値)が前月比3.1%減の33,771人に対して、月間有効求職者数(同上)は前月比2.2%減の28,321人となり、有効求人倍率(季節調整値)は1.19倍と、前月より0.01ポイント低下しました。

②【参考】完全失業率・・・沖縄は前月より上昇、全国は同水準。

単位：%

	沖縄県	全国
2022/8	3.3	2.5
9	3.0	2.6
10	2.7	2.6
11	3.5	2.5
12	3.6	2.5
2023/1	2.8	2.4
2	3.5	2.6
3	3.9	2.8
4	4.0	2.6
5	3.7	2.6
6	3.0	2.5
7	2.5	2.7
8	4.0	2.7



注) 季節調整済

8月の完全失業率(季節調整値)は、4.0%となり前月より1.5ポイント上昇しました。